

⚠ サイズ等は、おおよそです。

*Size & etc are about.

老山 白檀『最高級 角材』

Mysore Sandal Wood
『MHQ Rectangular Lumber』



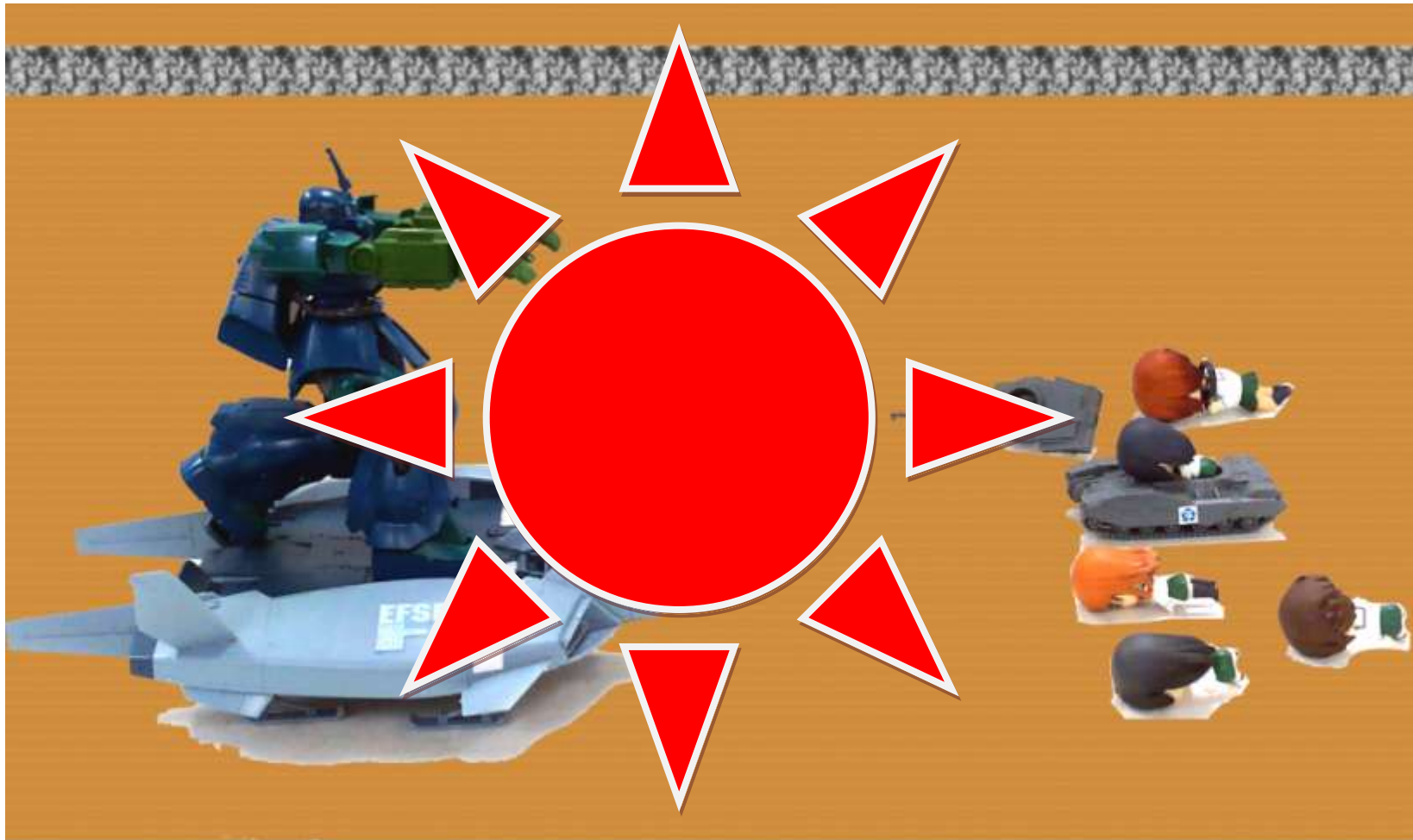
(^_^) 焼肉で言う所の特上カルビ！ 業者さんの問合 大歓迎♪ 武○野彫りとかに如何？ 左は、ハンコにも使える 50×15×15mm。真ん中は、仏様も彫れる 60×40×10mm。右は、その 60×40×10mm を作ろうとしたら、フシやヒビがあって はねられた不定形。1個1個、サイズも難点もバラバラの為、直に選ぶのがオススメ☆

さあ、次のページからは、お待ちかねの宣伝テース♪



Altogether destroyed...
(全滅した...)

(^_^) 敵拠点を前に、サイコ・マリナーに遭遇。全滅した戦車チーム！
ここで終わってしまうのか！？ 以下、次号を待て！



That time, Mysterious happened!
(その時、不思議な事が起こった！)



「What's Happened!？」
(なんですと!?)



「——But That kind of tank count for nothing,
no matter how many of them there are!」
(—だが、ザコが何両 来ようが同じ事!)



「「「「「 Miracle Shape Shift! 」」」」」
((((((ミラクル へんけ~い!))))))



「What's it?! You suck! 」
(なに、ソレ?! ずるい!)



Pi Pi Pi Bo bo bo bo... Kaboom!
(ピ°-ピ°-ピ°-ホ°ホ°ホ°ホ°... グワツヤーン...！)



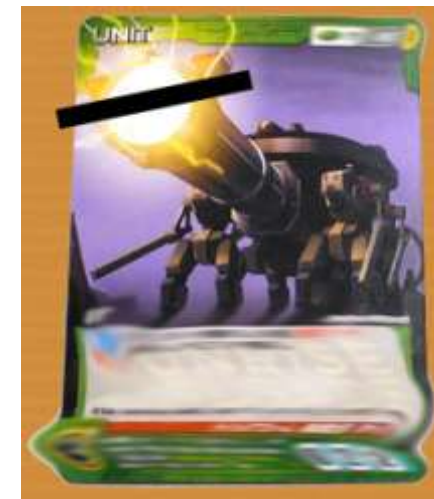
Altogether destroyed...
(全滅した...)



That time, Mysterious happened!
(その時、不思議な事が起こった！)



「Stop taking the mickey... !」
(バカにするのも、いい加減に… !)



「「「「 God Go-Raiko Bazooka!!!」」」」
((((ゴッド 御来光バズ~カー!!!))))



Overwhelmed the enemy!
(敵をやっつけた!)

《話は、戦車を組み立てる前に さかのぼり…》

(;-_-) 戦車なんて、いつの間に…。

(^_^) 61式に貼る デカール欲しさに、戦車ごと♪

(>_<) ——無駄遣い！

(T_T) ホントはデカール単品を買おうとしたんだけど、すっごく高くて、数百円プラスで戦車付きが買えたから、どうせなら…と。

(-_-) でもコレ…。接着剤が必要なタイプですよ？

(;-_-) …ホントだ(汗)。

(T_T) ……。

(#-_-) …おによれ、スナツプ フィット(接着剤 不要)に慣れきった現代っ子を なめるなよ！ カキ カキ…。

《着払 伝票 宛先：某 通販サイト》

(>_<) やめて！ それは返品理由に なってませんよ?!

(^^)/ 鷲○の らきす○御神輿みたいに、

大○町でアン○ウ御神輿が作られるかも？

(-_-) 山車(だし)は、既にあるそうですがね…。



アン○ウ大戦車 軍団・軍団長 演説

「みんな、最近の話題で、戦○部は戦いを望んでいないとか、敵のメカに会ったら逃げだそうと考えているとか、その手のウワサは全部、デタラメですっ！ 戦○道をたしなむ女子は皆、闘争を愛しています。全ての戦○女子は、砲弾を発射する時の興奮や、体当たりを敢行する際の高揚を愛しています！ 戦○女子は戦車戦を愛し、不戦敗は求めません。

常に学○艦の存続を賭けて出撃する。それこそ、大○女子が引くことを知らない理由です。負けた後のことを心配するのは戦○道への冒涇です。戦いは 戦○女子が熱中できる、命を賭けた儀式ですっ！

今日、存在する学○艦の内、何校かは戦果次第で廃校となるでしょう。誰でも廃校は怖いものです…。でも、真の戦○女子は恐れながらも戦える女子の事を言います。廃校となれば、生活環境は激変し、それぞれ新生活に慣れるまで、相当の時間を必要とするでしょう…。でも、将来への不安が、戦○女子の名誉、使命感、そして誇りを打ち負かす事は決してありません！

今次 大戦について、「あの頃、あなたは何をしていたの？」と聞かれた時、
こう答えたくはないでしょう。「ええと…。全身タイツでアン○ウ音頭を踊
っていたんだよ。」と…。そうではなく、胸を張って こう言えるでしょう。
「アン○ウ大戦車 軍団で戦っていたのよ。あがり症で優柔不断なドジっ子
の元でね！」と…。あなたたちのような素晴らしい戦○女子を率いて戦え
ることを私は誇りに思います！ 以上」